

ごみが処理されるまで

～空へとつづく「ごみ」のたび～



「ごみ」をかき混ぜます。

ピット内のごみを、クレーンで攪拌します。

これは、異物などの発見やごみの質を出来るだけ均一にするための作業です。

ここで、出来るだけごみを攪拌しておけば、ごみが良く混ぜられてごみの燃え方が安定する事になります。

かくはん ごみの攪拌

①ごみピットで稼動するクレーン



②ごみクレーン



③ごみを持ち上げるクレーン



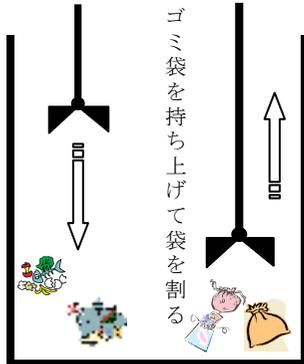
④クレーン操作



クレーン作業の工程

【その一】

搬入されたばかりの新しいごみを何度か高く持ち上げ、下に落として袋を破ります。



【その二】



↑ごみを攪拌しながら移動させます。

※ピットを上から見た図

④ 混ぜ終えたごみ (4段階目)	② 袋を割ったごみ (2段階目)
③ 混ぜ始めたごみ (3段階目)	① 入ったばかりのごみ (1段階目)

【その三】



投入ホッパー

混ぜ終わったごみをホッパーに入れます。(ピット上部にある、ごみを処理する入口に入れる。)

ごみピットの様子がデジタルで表示されるようになっています。

